

Medical Group AISEIKAI

**名古屋市北区東部地域
包括支援センター**

名古屋市北区東部いきいき支援センター

センター長 水谷 正

1 名古屋市北区東部いきいき支援センターの概要

プロポーザブル方式による公募による選定の結果、新たな5年間計画のもと、受託が始まった1年である。特に公平性などセンターの理念が強く求められ、区役所、医師会、保健所、社会福祉協議会などとの協働化のもと、65歳以上の高齢者の総合相談窓口として、保健師、看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員、事務職員総勢15名が、医療・保健・福祉の連携をモットーにして、住み慣れた地域の中で自分の力で穏やかに過ごして頂くため、9小学校区（宮前、飯田、名北、六郷、六郷北、辻、杉村、城北、東志賀）を担当している。保健師、看護師等が介護予防を、社会福祉士が、虐待、消費者被害などの権利擁護を、主任介護支援専門員は、地域のつながりを広めると共に、地域の介護支援事業者などの支援を行っている。更に介護予防事業所として、要支援者のケアマネジメントを行い、また認知症家族を支援する事業も4年目を迎えた。尚、平成23年1月より、名称が「地域包括支援センター」から「いきいき支援センター」に変更になりました。

2 2010年活動実績

医師会、保健所、各小学校区内の民生委員などの協力の中、いきいき介護予防健診（生活機能評価）などを通じた特定高齢者の掘り起こしを行い、約800名（12月末現在）に対して、お手紙、電話や訪問などを通して運動器や口腔などの機能向上事業につなげるなど介護予防の推進を行う。そして一般高齢者にも対象を広げた北図書館主催の体操教室の講師や社会福祉協議会のはつらつ長寿推進事業での体験会などを通して、ポピュレーションアプローチというより早期な時点からの予防に向けた地域づくりなどの重要性を強く認識した。次に経済的搾取や介護放棄などの虐待や悪質商法による消費者被害に伴い、区役所や高齢者虐待相談センターなどの協力を頂き、実際に発生した虐待などの解決に対応すると共に安全な地域作りとして金融機関まわりや認知症サポーター養成講座を開催した。また地域包括支援センター便りの発行や情報配信を行い、困難事例に対して同行訪問するなど居宅介護支援事業所などの後方支援を行った。

そして543名（12月末現在）の要支援者のケアマネジメントを行う共に、介護保険サービス事業者の正しいサービス提供の在り方についても支援をした。一方で認知症の方を介護する家族向けの家族教室、家族サロン、物忘れ相談を毎月開催した。

最後に名古屋市からの受託事業として、行政と民間事業者との中間に位置し、直接支援する機関等へのつなぎ役や情報発信基地として一役を大きく担った1年である。

3 学術発表等

北区地域包括ケア推進会議 委員。北区認知症専門部会委員。小規模多機能型施設「かくれんぼ」、「ニチイのやわらぎ大曾根北」、「陽樹」、グループホーム「あさひ名北」の運営協議会委員、上飯田福祉会館 サポート会議委員を担当、その他。

また、北図書館の暮らしのセミナー、認知症キャラバンメイト養成講座やサポーター養成講座などの講師などを努め、更には、生涯学習センターや図書館でセンター現況調査を行った。